

市校究タイム 中間発表!



去る6月24日(金)、富士市立高校2年生による『究タイム・市役所プラン』の中間発表が行われました。

この授業は、探究タイムの一環として、各地区のまちづくりについて考える学習を通し、課題を発見し、解決する力と方法を身に付けることを目的としています。

また、地域住民の一員としての意識を高めてほしいという思いも込められています。

当日は講師の静岡大学・常葉大学の先生方をはじめ、今年度の対象10地区【岩松北・富士見台・富士川・青葉台・伝法・鷹岡・吉永・浮嶋・原田・大淵】のまちづくり協議会メンバーも参加。

「特産品のブルーベリーを使ったスムージーを販売したい」「今のお祭りを変えたい」「空き地を利用した公園を作りたい」…など、生徒さんの発表に真剣に耳を傾けていらっしゃいました。

発表会のあとは、生徒さんと協議会のみなさんの懇談タイム。有意義な意見交換となりました。9月の最終発表会に向けて、夏休み期間中のフィールドワークをはじめ各グループごとに活動、研究を進めます。対象となる地区は、この機会を積極的にまちづくりに活用していただきたいと思ひます。

地区まちづくり活動をさらに充実していくために・・・

「これからのまちづくり協議会」検討会 ・ 「まちづくり未来会議」を開催します。

「これからのまちづくり協議会」検討会 は、地区の役員のみなさんとともに、これからの地区まちづくり活動に必要な支援方法について3回にわたって検討していきます。

- ◆第1回：8月下旬、第2回：10月中旬、第3回：11月中旬
- 各回とも、2ブロックずつ(中部・東部ブロック/南部・西部ブロック/北部・北西部ブロック)合同で開催します。

「まちづくり未来会議」は、若者世代の皆さんを中心に、地域を取り巻く現状や、今行われているまちづくり活動の事を知り、その課題や魅力について意見交換し、できることを考えます。

- ◆第1回：9月26日(月)、第2回：11月7日(月)、第3回：12月12日(月)
- 会場は各回とも富士市立高等学校

会議のようすや結果などは順次この紙面上でもお知らせしていきます。

【発行】平成28年9月
【発行者】富士市民部まちづくり課
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)
☎(0545)55-2887
🌐 <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>



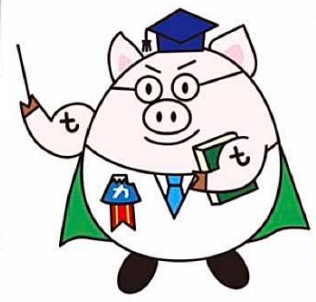
富士市

2016
September

vol.
06

平成28年度の
スタートは
広報特集!

コブタ レポート



■地域の力がこぞ増進計画・ニュースレター■

市内26地区すべてで、まちづくり行動計画が完成!!

みなさんの地区でもリーフレットが配布されたり、所属団体の総会などで説明があったかもしれません。あなたはどんな機会に完成した計画を目にしたでしょうか?

行動計画を読むことで、これまで行われてきた個々の活動の意義を確認することができます。

また、その他にどんな活動や団体があるのかを知ることで、地区のつながり、まとまりを感じることができます。そして、これからどんなまちにしていくのか、地区の将来を見渡すこともできます。

地区の活動がより大きな効果をあげられるよう力をあわせていくために、まず始めに行うことは、今回のまちづくり行動計画のように同じ情報を手にすることです。

今回は、地区での情報の共有、広報活動についてとりあげてみたいと思ひます。

▼全地区、26のまちづくり行動計画が完成
富士市のHPでも公開中!



コブタレポートもリニューアル!!

富士市のまちづくり全体のトピックスや各地区のキラッと輝くまちづくり活動、それに関わる方々など、みなさんの地区活動に参考にしていただけるような情報をお届けしていきます。

ボクの名前は、チカラコブタ!
ボクは、『地域のチカラ(地域力)』をモリモリ大きく元気にするためにやってきたコブ。これから、富士市のまちづくりを盛り上げるために、地域で頑張っている人たち取材していくコブ。地域の皆さんの頑張りを見て、みんなも一緒に協力してくれたらうれしいコブ。富士市のみんな、これからよろしくコブ～!



特集 ◆ あなたの地区の広報活動

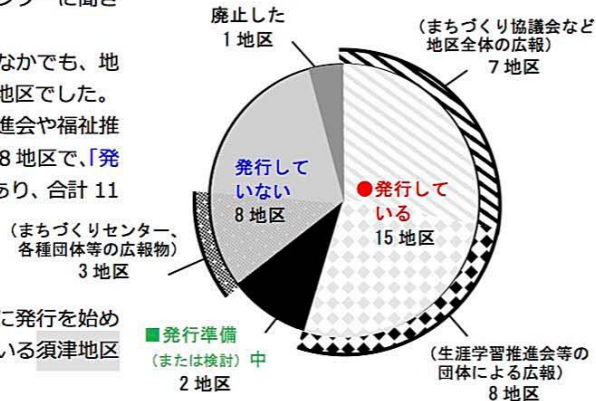
地区の情報を共有しよう！ ～広報編～

地区内の広報の状況について、各まちづくりセンターに聞きしました。

「**広報を発行している**」地区は15地区。そのなかでも、地区全体の活動を知らせる広報誌がある地区は7地区でした。また、まちづくり協議会ではなく、生涯学習推進会や福祉推進会などの団体が広報誌を発行している地区は8地区で、「**発行していない**」と答えた地区のなかにも3地区あり、合計11地区は広報物があるようです。

さらに、「**発行準備（または検討）中**」の地区が2地区ありました。

今回は、継続的に発行している鷹岡地区、新たに発行を始めた伝法地区、独自のスタイルでの広報を考えている須津地区のみなさんにお話をうかがいました。



●発行している ベテラン

鷹岡地区

では、A4、6ページの広報誌「鷹岡まちづくり新聞」を1年に3回発行しています。担当しているのは、まちづくり協議会の各部会から選出されたメンバーによる新聞編集委員会。今年度は12人で活動しています。このような体制の原型ができたのは、まちづくり協議会設立以前の平成21年度から。平成19年度にまちづくりセンターで、記者経験をもつ地元の海野庄三さんを講師に新聞講座を開催し、受講した方が生涯学習推進会広報発行を経て、現在のスタイルで発行を始めました。7月20日に発行された最新の第29号では、まちづくり協議会や各団体の総会報告、行事報告やお知らせ、インタビュー（区長会長）、まちの話題のほか、子ども向け（キッズ版）ページもあります。また、毎年4月号では、1年間の行事予定を1ページを使って紹介しています。これを冷蔵庫に貼ってある家庭もあるそうで、たいへん好評だとか。また、各団体も掲載に合わせて行事予定を決めたり、日程が重ならないように調整しているとのことでした。



最初の3、4年間はまちづくりセンターの輪転機で印刷していましたが、もっと写真などを見やすくしたいとの思いから、予算を確保し、現在は印刷業者に依頼しています。まちづくり協議会の予算に占める割合も大きく、その分の責任の重さを感じながらも、まちの人々全員がその様子を知り、地区を身近に感じられるような機会を提供することがまちづくりの第一歩として、広報の果たす役割の重要性を強調されていました。

●発行している ニューフェイス

伝法地区

では、まちづくり協議会だより第1号を平成28年1月に発行しました。タイトルは『伝進』。伝＝伝法+伝える 進＝前進 という思いを込めたそうです。昨年9月から5人の広報担当で活動を始め、他地区の広報誌を参考にしながら原稿を作成しました。総務の佐野一徳さんが「広報には、行動的で明るく、話しやすい人が適任」と直接スカウトしたそうです。第1号では、行事の報告や地区の話題などを取り上げましたが、次号では協議会の組織や部会などを紹介していく予定です。



また、活動などの当事者に記事を書いてもらい、地区で行われているさまざまな活動やそこに関わる人を紙面を通じて幅広く紹介していくことも考えています。取材によって得られる多くの出会いを喜びとして、楽しく活動しています。



■発行準備中 Coming soon

須津地区

では、生涯学習推進会や福祉推進会など各団体の広報が発行されていますが、まちづくり協議会の広報班でも、まちづくり協議会をもっと身近に感じてほしい、団体同士のつながりをもっと深めたいと活動を始めようと動き出しました。

写真が得意な後藤秀幸さんがこれまで撮りためた地区まちづくりの活動記録写真に、パソコンが得意な渡辺兼晴さんがまちづくり協議会の組織や部会の紹介などを織り交ぜて編集し、パワーポイントを作成しました。現在、各団体の会合の前などで見てもらい、まちづくり



協議会への理解を深めてもらうよう働きかけています。

また、秋の文化祭には展示コーナーを設け、来場者から意見や感想などをもらう計画も進めています。



仲間で話し合い、まちへ出かけ、多くの人との関わり、手間ひまかけて作られている広報。掲載されている活動内容や登場している人々はもちろん、広報を作る人たちの思いにも心を寄せながら、それぞれの地区にある広報をあらためて読み、活用してみてください。地区へのまなざしが変わってくるかもしれません。

コブタレポートのバックナンバーは、富士市のホームページでもダウンロードできます

コブタレポート

検索



スマホでも見てね♪

